

次の図は、厚生労働省が令和6年発表した「食中毒統計調査」の一部である。この図を読み、以下の問いに答えなさい。

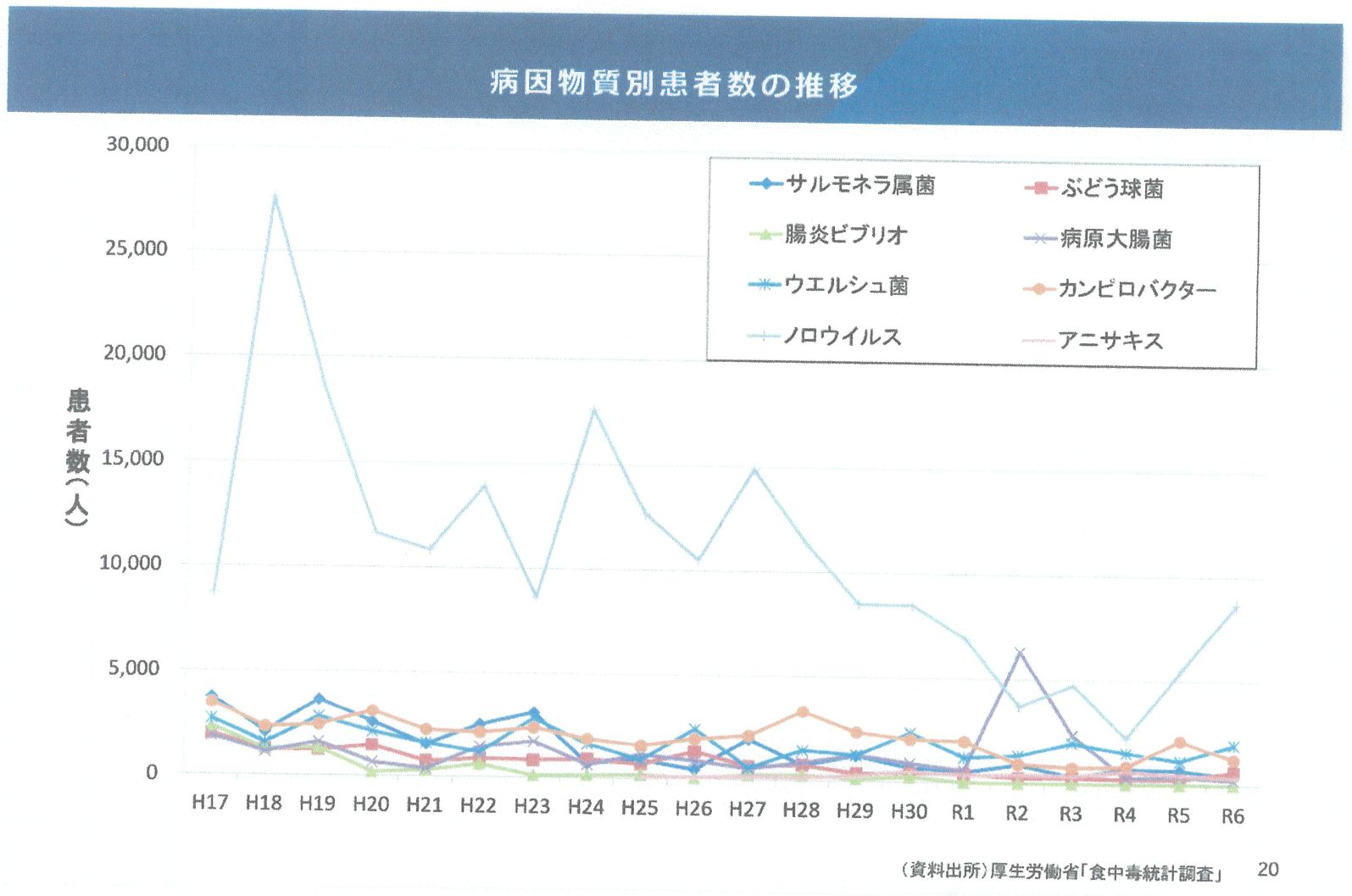


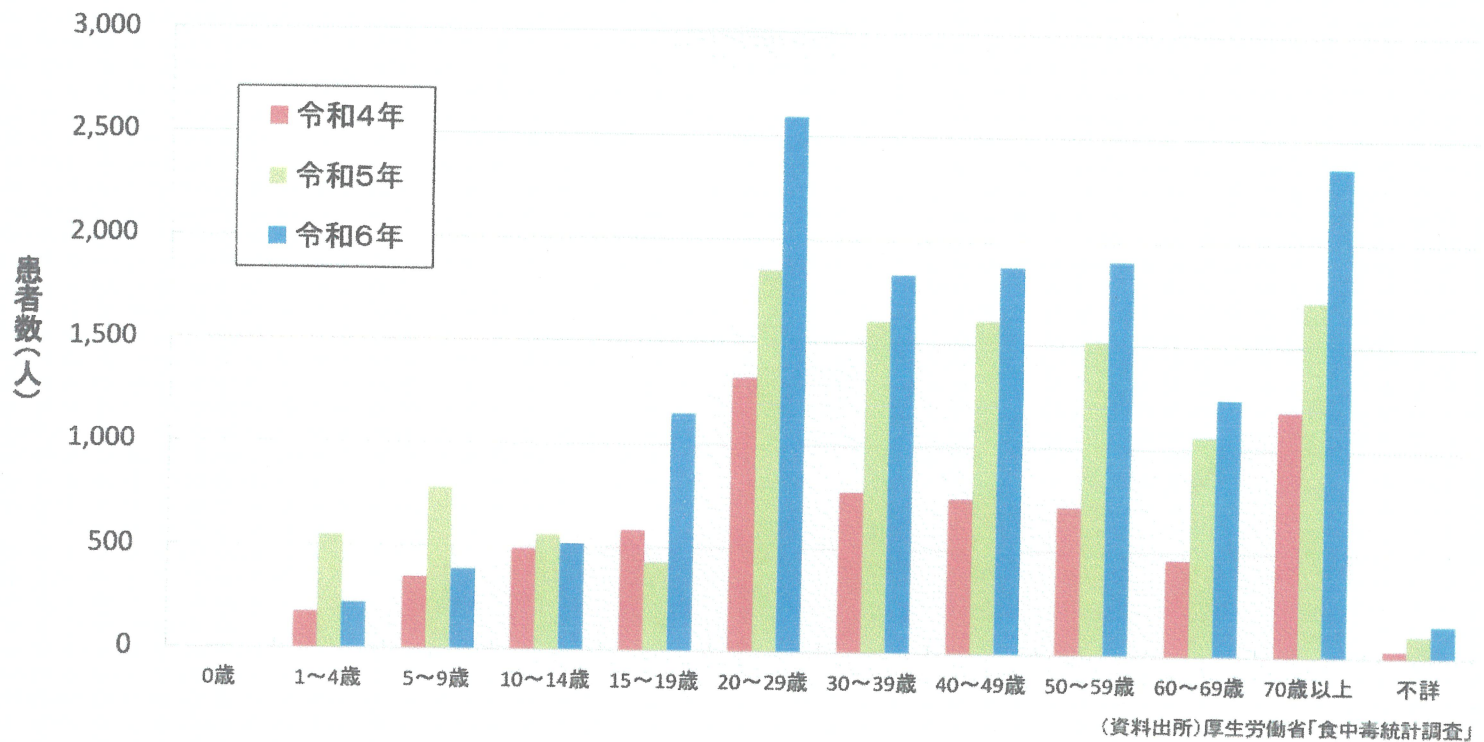
図 1

出典：厚生労働省 第3回食品衛生監視部会 資料1-1 令和6年食中毒発生状況の概要,p20.

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001462571.pdf> (アクセス日：2025年8月19日)

問1 図1は食中毒の病因物質別に見た患者数の推移を表している。この図から読み取れる特徴を200文字以内で述べなさい。

年齢階級別食中毒患者数（令和4年～令和6年）



5

図 2

出典：厚生労働省 第3回食品衛生監視部会 資料 1-1 令和6年食中毒発生状況の概要,p5.

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001462571.pdf>（アクセス日：2025年8月19日）

問2 図2は、年齢階級別にみた食中毒の患者数の推移を表している。20～29歳の特徴を述べなさい。また、食中毒の予防に向けてあなたやあなたの家族で出来る取り組みとその理由について具体的に述べなさい。
 なお、厚生労働省は細菌性食中毒予防では「つけない」「増やさない」「やっつける」の3原則、ウイルス性食中毒では「持ち込まない」「ひろげない」「つけない」「やっつける」の4原則を提唱しています。